

「共助」

共に生きる世界を目指して！

本校の教育目標の「共生の啓成～みんなの学校・みんなの授業・みんなで活動～」というのは、もう皆さんご存知だと思いますが、9月16日(月)の8月末の佐賀豪雨の佐賀新聞記事に「共助」につながる関係という記事がありました。記事は「災害時は「自助」「公助」とともに「共助」が欠かせない。8月の豪雨でも各地域で助け合い、支えあう光景が見られ、今も生活再建に向けた支援が続いている。人間関係が希薄になっているといわれるが、「世の中、捨てたものではない」と感じた人も多かったのではないかな。ただ、そう言いながら、普段の暮らしの中では結びつきが強すぎると煩わしく思う人もいる。昔から住んでいる人、移り住んだ人など、それぞれに地域コミュニティのあり方に対する考えの違いもある。濃密な関係を歓迎する人ばかりではなく、悩ましいところだが、いざというときには「共助」が機能する関係を保ってほしい。《後略》」と書かれていました。



社会でも子どもたちの人間関係も、以前に比べると希薄になってきているかなあと私も感じます。いじめの問題もそうでしょう。関わらない方がいいだろうとか、私には関係ないもん、なんて思う子どもも増えてきているでしょう。昔みたいに「正義の味方」的な存在がなかなか現れてくれません。

我が啓成中学校も、この「共に」を目指しています。友達の困り感や学校・友達のために何かしよう！という思いをもっと強く持ち、それを実行できる実践力につなげてほしいと思います。佐賀豪雨での災害は大変でした。でも、このことから何かを感じ、危機管理以外での得るものを持ちたいと思います。

ボランティア清掃、はじめました！

9/22の台風17号の通過で、登校坂や道路が風で飛ばされた枝や葉っぱでいっぱいでしたので、掃除をしていましたが、やはり一人ではどうしようもなく、生徒たちにボランティアを要請しました。昨年度も朝の時間に登校

坂のボランティア清掃をお願いしていましたので、25日の水曜日（これから定期的に毎週水曜日）からボランティア清掃を開始しました。

生徒26名が参加してくれ、一人では、なかなかさばききれなかった枝や葉っぱもだいぶ片付きました。やはり「人」です。人海戦術とはよく言ったもので、人の力は大きいです。力を合わせるこれぞ「共に」です。朝は涼しかったですが、日頃しない作業をしたので疲れたでしょう。人のために何かをするということは、疲れることであり、大変なことであるということをも身をもって感じてほしいのです。そのことが、大人になって、災害のときだけでなく、人を助けようという気持ちにつながってくればと強く思っています。



今から春には私たちの心を和ませてくれる桜の葉が散ります。春を楽しみに、心をこめて登校坂の清掃を頑張ってください。子どもたちと共に頑張ります。

ちょっと予断ですが、清掃中に「ほげで取りなさ〜い」と叫んだのですが、子どもたちは口をぽか〜んと開いたままでした。「ほげ」を知らないのですね。経験したことがないということは怖いものです。これからたくさんの経験を積んでほしいと思います。

10/2からは中間テストです！

来週の水曜日10/2からは中間テストです。8月に実施した3年生のSAGAテストの結果も返ってきました。4月に行われた佐賀県学習状況調査のアンケート結果からは、やっぱり家庭学習の時間と成績は正比例するという結果が出ました。勉強もスポーツも「やったしこ！」です。勉強、勉強とは言いたくはありませんが、家での復習が大切なのは、「火を見るより明らか！」なのです。

先日、配った「家庭学習への取組」クリアフォルダに、家庭学習の必要性を書いています。短期記憶脳とそれを定着させる記憶脳、それには反復は必要なのです。もう一度、親子で読み返してください。少しずつですが、啓成中学校の学力も回復傾向、上昇傾向です。もう少しの子どもたちのがんばりに期待します。